



## 桜を好きになった日

生協わかばの里介護老人保健施設  
介護福祉士  
河村 純平

21歳の頃、介護やってみる？と声をかけてもらって、ただ何となく介護の仕事を始めました。

3か月がたった頃、普段から笑顔が絶えない利用者さんと散歩に出かけました。満開に咲いている桜を見た利用者さんが「綺麗」と感動して泣かれていました。

私は今まで漠然と桜を見てきていました。自分よりも3倍以上の人生を送られてきた利用者さん。桜を見ただけで泣かれた事に対して驚きました。

施設生活において自由が少なく、他人との共同生活を送るうえで、日々どれほどの我慢をされていたのでしょうか。桜に対する様々な思い入れがあったのでしょうか。涙されている姿を見て、今まで感じたことのないほど気持ちが高ぶったのを覚えています。

それからは、利用者さんに対する気持ちが変わりました。7年半がたった今もギターを弾いたり、利用者さんと物作りをしたりと、利用者さんが笑顔になってもらえることを追求しています。

桜が一番好きな花になりました。

